

pay off

～（努力や投資などが）利益・効果をもたらす～

人生最大の自己投資の1つともいえるのが大学（院）。世界的に大学進学率（entry rate for higher education）が上がっている中、大学の学位はもはや特別のものではありません。一方で、進学率が高いからこそ大卒でないと不利なケースもあるでしょう。奨学金を借りてまで大学に行く必要があるのか、むしろ大学院（graduate school）まで行くべきなのか、それとも専門学校（vocational school/college）でスキルを身に付けた方がいいのか、さまざまな意見があって興味深いテーマです。

Do you think a post-graduate degree **pay off in jobs and salaries?**

大学院の学位は仕事や給与で元が取れると思いますか。

pay off は「（努力や投資などが）利益・効果をもたらす」という意味のフレーズで「主語+pay off」の形を取ります。もともと pay には「利益が出る」という意味があります。例えば、The restaurant started to pay. といえ「そのレストランは利益が出始めた」という意味です。それに off（離れて）がつくことで、努力・投資するプロセスを経て、効果が表れる段階に移るニュアンスが出てきます。

post-graduate は大学院の、under-graduate は「大学（学部レベル）の」です。

Our hard work into this research is starting to **pay off now.**

この研究に熱心に取り組んだ効果が表れつつあります。

ここでは pay off は「効果が表れる」という意味で使われています。金銭面に限らず、「努力や投資がプラスになる、努力（投資）したかいがある、いい結果をもたらす」といったニュアンスです。

I wonder if I should **pay off my mortgage or buy a holiday home in Nagano.**

住宅ローンを完済すべきか、長野に別荘を買おうか、迷っています。

この pay off は「（住宅ローンを）完済する」というまったく別の意味で使われています。pay off debts/loans（借金・ローンを完済する）のように「pay off+目的語」の形をとります。off（離れて）によって「借金を返済し終える、借金から解放される」イメージです。ちなみに、月々返済していくときは pay down を使います。借入残高が down していく（減っていく）と考えるとわかりやすいですね。

単語・熟語チェック

post-graduate 大学院 ⇄ under-graduate 大学

degree 学位

mortgage 住宅ローン

holiday home, vacation home 別荘